

事業所における自己評価結果（公表）

【児童発達支援】

公表： 2023年2月6日

事業所名 多機能型通所支援事業所 S T E L L A（児童発達）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用者様の特性に応じてスペースを確保している	利用者様の特性に合わせ適宜検討していく
	2	職員の配置数は適切である	○				活動の充実に向けて検討を続けていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			排泄・活動場所、食事でスペースを分けて使用している	感染症予防の観点からも清潔保持を心掛けていく
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			朝夕の申し送りで意見の集約と振り返りを実施している	事業所全体で検討しPDCAサイクルを回している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			定期的な自己評価を実施し改善を行行情報を公開していく	頂いたご意見を活用できるよう全職員で検討していく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			定期的な自己評価を実施し改善を行いホームページを通じ情報を公開していく	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			評価結果を改善につなげられるよう事業所として対応している。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			年間計画を立て研修を実施している	外部研修にも積極的な参加を検討していく
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			定期的に個別支援会議を開催し、多職種で計画を検討している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			法人で統一したアセスメント表を使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			ご家族からのご要望も考慮し、多職種で検討を実施し、そのうえで支援内容を毛呈している。	児童発達支援計画はガイドラインに沿った内容で、多職種で話し合いながら、保護者様のご意向も伺いながら検討している。内容のご説明や報告等の計画作成に係る一連の工程において、より分かりやすく丁寧な説明を心掛けていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画に沿って活動やリハビリ等を実施している	ガイドラインに則った運営を実施できている

切 な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		必ず多職種で内容を検討している	各職員が積極的に発信できるよう日頃の情報共有をしっかりと実施するよう意識している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間・月間計画をたてて固定化しないよう工夫している	児童発達支援ガイドラインに基づき余暇支援・創作活動等、季節の内容も取り入れ多職種で活動内容を検討している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○		個別性を踏まえ、リハ職を交えて個別活動内容を検討している。レクリエーションを目的とした集団活動も取り入れている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、支援開始前と終了後に打ち合わせを実施している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、支援開始前と終了後に打ち合わせを実施している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人ごとに毎日記録している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施しその都度計画を見直している	多職種で検討を実施している
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管、必要に応じて看護師やリハビリ職が参加している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要時、地域の保健師等と連携しながら会議を実施している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医師や医療・教育関係者と会議等を通じ情報を提供していただいている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医から情報を提供していただき必要時医師・病院と連絡が取れるようにしている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行会議等を開催し情報を共有している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行会議等を開催し情報を共有している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他機関との連絡調整、連携を密にし助言・研修等を受けることができるよう努めていく	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		食育レストラン等の利用者様と交流を図っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○	コロナの状況を見極めながら検討していく

携	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時にコミュニケーションを図り保護者との情報交換をし、共通理解を深めていく	日々のコミュニケーションや支援計画のモニタリング等で情報共有共通理解を深めていきたいと考えています。ご要望に応じて面談も随時実施いたしていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			保護者との面談を通じアドバイス等をお伝えしている。	家族への支援がより充実したものになるよう面談等を通じアドバイスを実施していく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			全利用者へ契約時にご家族に説明している。	制度改正等で改訂が発生した場合にも説明同意をいただいている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			支援計画の説明を実施し必ず同意を得ている	ガイドラインに則り適切に実施している
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			随時行っている。必要に応じ受診を勧めたり福祉サービスの説明を実施している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	活動においてご家族も参加できる内容を企画するようにして	コロナ感染予防の観点から未実施。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情対応窓口を設置している。	リーフレット等も使用しながら周知していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			年三回広報誌を発行している	写真等の使い方を工夫し、より充実したものにしていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				個性に合わせ最善の配慮ができるよう検討していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			事業所でのイベントや食育、学習支援を通じ地域交流を実施している	コロナ禍において可能な内容を検討していく
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアルは随時更新しながら、適切な内容で運営できるよう心掛けている。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的な防災訓練を実施している	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			事前に必要な情報を収集し受け入れ準備をしている	更新が漏れぬよう適宜見直しを実施していく
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示所を確認、ご家族からも確認し、職員に周知し	契約時に全員確認している
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例集を作成している。	日々のミーティングを通じ、予防や再発防止について情報を職員への周知に努めている。

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年間の研修計画に組み込み適切に対応できるよう指導している	外部の研修等にも参加していく
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			拘束の実績はない。	拘束が必要な場合は計画等に適切に記載しご家族等へ十分説明していく